

平成29年度 名古屋市ユース（U-14）サッカー選手権大会 審判割り当て

※ 審判をする上で、以下のことに注意してください。
 ・ 審判を割り当てられているチームで主審（1名）・副審（2名）を担当すること。主審は必ず有資格者が担当すること。
 ・ 副審は選手可（ルールに詳しいもの、有資格者が望ましい。準々決勝は選手不可、有資格者のみ）
 ・ 主審・副審の割り当ては審判担当チーム同士で事前に話し合っておくこと。
 ・ 会場担当チームは第4の審判員を担当するため、会場担当チームと対戦するチームは主審を担当すること。
 ・ 主審は審判服を着用すること。（副審もできる限り審判服を着用すること。）

10/28(土)名古屋(A), 中川学体(D), 港明(G), 楠(L), 牧の池(N), 振甫(Q), 高針台(S), 北陵(T), 富田(V), 新郊(W), 御田(X), 山田(Y)
10/29(日)名古屋(A), 当知(I), 原(J), 豊国(P), 南陽(R), 大高(U), 山田(Y)
11/ 5(日)高針台(S), 大高(U)
11/18(土)天白学体(C), 中川学体(D), 志賀(F), 日比野(K), 守山東(O), 南陽(R), 高針台(S), 大高(U)
11/19(日)猪高(H), 日比野(K), 高針台(S), 大高(U)

	第1試合	第2試合	
審判	第2試合のチーム	第1試合のチーム	

10/29(日)中川学体(D), 猪高(H), 守山東(O)
11/ 5(日)日比野(K), 大森(M)
中川学体(D)：第1試合9:30、第2試合10:45、第3試合12:00

	第1試合	第2試合	第3試合
審判	第3試合のチーム	第1試合のチーム	第2試合のチーム

10/29(日)平田学体(E)				
	第1試合	第2試合	第3試合	第4試合
審判	第2試合のチーム	第1試合のチーム	第4試合のチーム	第3試合のチーム

☆ 天白学校体育センター(C)、中川学校体育センター(D)、平田学校体育センター(E)は②10:30が第1試合です。
 また、10月28日(土)、29日(日)の名古屋中学校会場(A)は第1試合ア11:00、第2試合イ12:30になります。
 試合時間が異なりますので、注意してください。

12月2日(土) 準々決勝(副審は選手不可、有資格者のみ) 口論義運動公園サッカー場(B)							
	主審	第1副審	第2副審		主審	第1副審	第2副審
① 9:30	大高	第2試合のチーム	第3試合のチーム	③12:30	守山東	第4試合のチーム	第4試合のチーム
②11:00	日比野	第1試合のチーム	第4試合のチーム	④14:00	御幸山	第3試合のチーム	第3試合のチーム

12月3日(日) 準決勝・決勝 名古屋中(A)				
	主審	第1副審	第2副審	第4の審判員
準決勝① 9:00	御幸山	今池	港北	大森
準決勝② 10:30	大高	富士	鎌倉台	名塚
決勝 14:00	守山東	東星	八王子	御幸山

会場使用について(総会資料より)

- ベンチ及びその周辺には、登録した監督・コーチ・選手以外の者(登録外選手や保護者など)が入らないように、チームで徹底してください。
- ゴミは各チームで必ず持ち帰り、監督責任者で更衣場所の点検を行ってください。(会場付近についても同様)
- スパイクなどについて土や泥は、必ずグラウンドで落とし、更衣場所を汚さないようにしてください。やむを得ず汚れた場合には、掃除して帰るようにしてください。
- 器物破損が生じた場合は、必ず会場責任者に報告し、指示に従ってください。
- 会場へ問い合わせはしないでください。また、保護者の車の乗り入れ、会場付近の路上駐車はやめてください。各会場への自家用車の乗り入れには、**指定駐車券(監督用、審判用)**の提示が必要です。
- 学校・学校体育センター敷地内は禁煙です。また、会場周辺で喫煙の際も、必ず吸い殻の始末をしてください。
- 学校体育センターは**9時以前**に集合しないでください。また、周辺の公園で集合したり、アップ等の活動をしたりしないでください。

審判について

レフェリーは、ルールが尊重され、試合に関わる全員がサッカーを楽しめるように、選手がプレーに集中できる環境作りを助けるための存在です。安全と公平性が保障された試合となるように、ゲームコントロールに励んでください。

(1) 競技規則(ルールブック)をよく読みましょう。

昨年度、競技規則が大幅に改訂されました。試合中に気になったことや疑問に思ったことなど、ぜひ競技規則で確認しましょう。競技規則で特にチームに指導していただきたいこと、レフェリーとして特に留意して、適用ミスのないようにしていただきたいことは以下になります。

- リスタート
 - キックでプレーを開始・再開する場合は、ボールを(静止後に)明らかに動かす。
 - キックオフはどの方向にボールを付けても良い。また、キックオフを行う競技者を除いて、すべての競技者はフィールドの自分たちのハーフ内にいなければならない。
- オフサイド
 - 反則が起きた場所からプレーを再開する。(副審は、フラッグアップするまで、ボールを追うことを止めない意識に改める必要がある)
 - 主審が再開場所を決定する。副審は、主審との確認がとれた後、すぐにオフサイドラインにポジションをとる。
- ペナルティキックとPK方式
 - キックフェイントは最も罰すべき行為である。(警告→相手の間接FK)
 - ゴールキーパーがキック前に前方に飛び出したことによりゴールを阻止した場合、警告となる。(PK方式中に2度繰り返して退場になる場合もある)
 - PK方式では、主審のコンイントスにより、キックするゴールを決める。(PK方式前に2度コンイントスをするようになる)
 - PK方式中でも両チームの競技者の数は同数にする。(キッカーを外れた競技者はベンチに退く)
- 競技者の用具
 - 試合中に用具を交換したり、修正したりするためにフィールドを出た後、主審の承認を得れば、インプレー中でもプレーに復帰することが可能である。

(2) 起きた現象(ファウル)をよく見ましょう。

- レフェリーとして、争点がよく見えるポジションに立ちましょう。(争点=選手同士が接触する点が見える位置に角度を合わせるために、サイドステップなどを使いましょう)
- 感覚的に決めつけずに、起きた現象(ファウル)をよく見て、急がずに判定しましょう。

(3) 戦える(タフな)選手を育てましょう。

- プレーオンを活用し、手や腕を不正使用した些細なファウルを受けても、もう1プレーがんばることができるたくましい選手を育てましょう。
- 激しくタフなプレーは認め、シャツを引っ張るなどの些細でも悪意あるプレーには厳しく対処しましょう。正しいチャージでの当たり負けをファウルとしない。ボールにチャレンジせず、相手のプレーを妨げようとするファウルを見逃さない。

試合前の審判員同士の打合せや、試合後の意見交換などを積極的に行い、指導者同士だけでなく、選手や保護者ともルールの理解と共通認識をさらに深めていただきますよう、よろしくお願いたします。